

## 3年南信州・長野県飯田方面修学旅行 子どもたちの成長を実感!!

3年生は5月17日（水）～19日（金）の3日間、「地元の人との触れ合いを通して、礼儀や節度を知り、人と人とのつながりを学ぶ」「大阪では味わえない自然との触れ合いを通じ、人間としての幅を広める」「体験学習を通じ、班活動の大切さや仲間を大切に作る心を育てる」を目的に修学旅行に取り組みました。

1日目の「選択体験」では、ルアーフィッシング・マウンテンバイク・ツリークライミング・いちご狩り・アップルパイづくりに分かれ、それぞれ地元の指導員の方々の指導を受けながら、思い思いに普段の学校生活では味わえない楽しい体験をすることができました。

2日目の「ラフティング」では、期待と少しの不安を感じながらインストラクターの方々の説明に熱心に耳を傾け、一生懸命に聴いている姿が印象的でした。みんなで協力してボートを漕いでる姿は頼もしく、ゴールした時の笑顔には、先生方も感動していました。

「ラフティング」を終えて、この修学旅行のメインイベント「ファームステイ」に子どもたちは取り組みました。各御家庭のおもてなしと農作業体験、一夜を共に過ごす中で、いろいろなお話を聴かせていただき、大阪では味わえない貴重な体験をさせていただきました。

今年の修学旅行では、日を追うごとに子どもたちの成長を実感することができました。また、行く先々で、インストラクターの方々や農家の皆さん、旅館や昼食でお世話になった方々、旅行業者の添乗員や写真屋さんから「挨拶がよくできる生徒さんですね、心優しい生徒さんですね、一生懸命頑張れる生徒さんですね」とお誉めの言葉をいただきました。

中間テストが終わり、いよいよ体育大会に向けての取組が本格的に始まります。3年生は、修学旅行での成果を自信に、最高学年として、先頭に立って後輩をリードし、素晴らしい体育大会にしてください。期待しています！

※ 修学旅行の様子は学校ホームページでもご覧になれます。

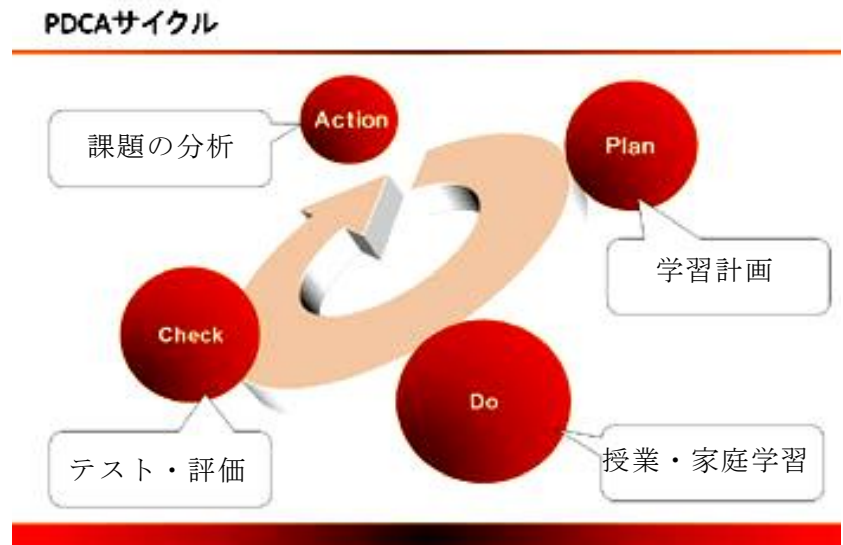


## テストの結果から課題をみつけよう!! 学習の PDCA サイクル

中間テストが終わり、その結果が今日から返却されています。満足のいく結果でしたか？

「玉出中だより 5 月増刊号 No. 5」でも伝えましたが、テストは、その点数に一喜一憂するのではなく、今の自分の学習到達度を確認するためのものです。テストの結果を振り返り、基礎的なところに課題があるのか、応用力に課題があるのか、単なるイージーミスなのか、文章表現や問題理解に課題がある

のか、その反省のもと自分の課題を確認し、これからの学習に生かしていくことが大切です。



『PDCA サイクル』というシステムがあります。これは欧米で使われているマネジメントサイクルの典型例で『PLAN・計画』『DO・実行』『CHECK・確認』『ACTION・改善』というサイクルのことをいい、企業だけではなく学校においてもこの「PDCA サイクル」を活用して、効果的な運営を行っています。

『PLAN』とは、自分が目標とする学力を身に着けるために、どのように学習を進めていくのか『計画』を立てることです。

『DO』とは、その計画に基づいて、日々の学習を『実行』することです。

『CHECK』とは、テストを受けて、今の自分の学力を『確認』することです。

『ACTION』とは、テストの結果を踏まえてこれまでの計画を振り返り、自己の課題に応じた学習計画・学習の仕方を『改善』することです。

この 4 段階を順次行って 1 周したら、最後の ACTION を次の PDCA サイクルにつなげ、螺旋を描くように 1 周ごとにサイクルを向上(スパイラルアップ)させていきます。継続的に学習改善していくことで、学習効果が高まり、段階的に学力が身についていくことになります。

中間テストの結果から、しっかりと自分自身を振り返り、期末テストに向かっていくようにしてください。小さな目標から一つずつ達成していき、将来の大きな夢にチャレンジできるよう、力をつけてください。

相田みつをさんの詩を紹介します。あなたは、どう受け止めますか？

『第4回南津守地区大運動会』ボランティアに18名の生徒が応募してくれました。

ありがとうございます。28日（日）よろしくお願いします。

**1年生は週明けの29日（月）・30日（火）に大阪府立少年自然の家での一泊移住、**

**2年生は30日（火）に大阪市内を班別に行動する校外学習です。**

規律ある集団行動のもと、充実した成果を期待しています。

